

競 技 注 意 事 項

1 規則について

本競技会は2010年度(財)日本陸上競技連盟規則及び第65回国民体育大会陸上競技実施要項並びに本大会要領によって実施します。

2 プログラムについて

- (1) 当日競技者受付にて、ナンバーカードとともにプログラムを配布します。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属等)があった場合には、8時45分、または遅くとも出場する競技の90分前までに大会本部に申し出てください。記録確定以後の訂正(記録証の訂正を含む)には、一切応じません。

尚、プログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。

- (3) プログラムは、残部がある場合に限り販売いたします。

3 招集について

- (1) 招集所は、100mスタート付近後方に設けます。
- (2) 各種目の招集の時刻は、競技開始時刻を基準として下記のとおりです。

	種 目	組	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	100m予選・記録会	1組~8組	30分前	20分前
	200m記録会	9組~16組	20分前	10分前
	100mH予選	17組~	競技開始時刻	10分後
	110mH予選			
	400m予選			
	400mH予選			
	800m予選	1組~6組	30分前	20分前
		7組~	10分前	競技開始時刻
	1500m決勝		30分前	20分前
	3000m決勝	1組	30分前	20分前
	2組	20分前	10分前	
5000m決勝		30分前	20分前	
5000mW決勝				
4×100mR記録会		30分前	20分前	
その他決勝種目		20分前	15分前	
フィールド競技	種 目		招集開始時刻	招集完了時刻
	棒高跳		70分前	60分前
	その他		45分前	30分前

- (3) 招集は本人のみで、代理人による招集は認めません。ただし、同時に2種目出場するものは、事前にその旨を競技者係及び審判員に申し出て競技に参加してください。
- (4) リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の60分前までに競技者係(招集所)に提出してください。

(オーダー用紙は招集所に用意してあります。)

- (5) 招集に遅れた者は失格になりますので、時刻を厳守してください。
- (6) 招集所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツを着用して集合してください。
- (7) ハンマー投は競技者受付、招集、競技とも都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場にて22日(日)に行います。

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者が用意します(東京高体連登録競技者は除く)。胸と背部用に2枚配布します。
- (2) ナンバーカードはそのままの大きさを胸と背に確実につけてください。走高跳、棒高跳に出場する競技者は胸または背のどちらか一方でかまいません。
- (3)トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバーカードを貸与しますので、パンツの右側の上部、やや後ろにつけてください。(リレー競技の場合はアンカーだけ腰ナンバーカードを使用します。)なお、腰ナンバーカードは競技終了の都度、フィニッシュ地点付近で競技役員に返却してください。

5 競技について

- (1) 本競技場は全天候舗装のため、スパイクについては競技規則第143条を参照してください。
- (2)トラック競技のレーン順、及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順とします。
- (3)レーンを使用する競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ってください。
- (4)トラック競技で予選のある種目については、予選の上位記録8名を決勝進出者とします。同記録がありレーンが不足するときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して決勝進出者を決定します。それでも決まらないときは抽選を行います。
- (5)少年A男子5000m、少年B男子3000mはグループスタートで行います。
- (6)少年A男子5000mでは、最後の1周(4600m地点)をスタート後19分以内で通過できない場合、競技を続行することはできません。
- (7)5000mWは、男女混合レースとします。
- (8)5000mWでは、最後の1周(4600m地点)をスタート後32分以内で通過できない場合、競技を続行することはできません。
- (9)リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース終了後も必ず各チームで外してください。
- (10)ハードルの高さは、2010年度(財)日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、次によります。

種 目	高 さ
少年B男子110mH	0.991m
少年A女子100mH	0.838m
少年B女子100mH	0.762m

- (11)跳躍競技、投てき競技で使用するマークは主催者で用意します。
- (12)競技で使用する用器具は競技場備え付けのものに限ります。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できます。「やり」は、競技開始1時間前までに用器具庫において公式計測員の検査を受けて合格したものに限り、個人のもので使用できます。尚、合格した「やり」は大会総務が借上げ、全員が使用できるものとします。
- (13)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりです。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	少年共通男子	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	以後最後の1人 になるまで3cm
	成年女子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	
	少年共通女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	
棒高跳	成年男子	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	以後最後の1人 になるまで5cm
	少年共通男子	3m50	3m60	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	
	成年女子	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	
	少年共通女子	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	

(14) 少年A男子三段跳の踏切板から砂場までの距離はフィールド審判長が決定します。

(15) 少年B男子走幅跳、少年B女子走幅跳については、3回目までA・Bピットで行い、上位8名による4回目以降もそのままのピットで行います。

(16) 投てき用器具の重量は、2010年度(財)日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、次によります。

種目	重量
少年A男子円盤投	1.750kg
少年A男子ハンマー投	6.000kg
少年B男子砲丸投	5.000kg
少年A女子ハンマー投	4.000kg
少年共通女子円盤投	1.000kg

7 商品名のついた衣類やバッグ類等について

競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、以下の規定を守ってください。

- ・ ベスト/レオタード
高さ4cm以内、ロゴ全体では高さ5cm以内、面積30cm²以内の長方形で1カ所。
- ・ トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット
高さ4cm以内、ロゴ全体では高さ5cm以内、面積40cm²以内の長方形で1カ所。
- ・ 下半身の衣類・・・高さ4cm以内、面積20cm²以内で1カ所。
- ・ バッグ・・・・・・面積25cm²以内で2カ所まで。

競技役員に指摘された場合は、その指示に従ってください。詳細は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を参照してください。

8 その他

- (1) 競技中において、競技場内のスタンド下ダッグアウトからの助言(指導)は禁止します。
- (2) 競技運営システムに支障をきたすことがあるため、競技場及びスタンドでのゲーム機の使用は禁止します。
- (3) 競技場内での練習は、すべて審判員の指示に従ってください。
- (4) 競技中の事故については、主催者で応急処置はしますが以後の責任は負いません。
- (5) 更衣室は男女別の表示に従って、更衣にのみ使用してください。また更衣室には荷物を置かないでください。
- (6) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管してください。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意してください。
- (7) ゴミ類は必ず自宅まで持ち帰ってください。(競技場及びその周辺、駅などに捨てていかないでください。)

(8) 記録証は1部300円で発行します。希望者は庶務係まで申し出てください。

第65回国民体育大会東京都代表について

1 参加人員

- ① 監督2名、選手29名（男子19名以内、女子19名以内）計31名以内とする。
- ② 成年男子・成年女子を問わず、教員1名を出場させなければならない。教員の出場がない場合は、成年男女の全種目に出場できない。

2 選手選考について

- ① 第65回国民体育大会東京都代表選手選考会（5月1～2日〈東京選手権〉、5月30日〈第1回東京投てき競技会〉、7月18日及び8月21～22日〈国体選考会〉）の中から選考する。
- ② 国体で入賞が期待できる選手を中心に選考する。
- ③ 教員枠1名を入れる。
- ④ 中学生は通信大会・都総体・関東大会・全国大会の成績も加味する。
- ⑤ 高校生は都総体・関東大会・全国大会の成績も加味する。

3 東京都代表選手合宿について

第65回国民体育大会東京都代表選手に選出された選手は次の日程で実施する国体強化合宿に参加すること。

第1次合宿 平成22年8月 日（ ）～ 日（ ）

練習会場 日本体育大学（健志台）

宿泊施設 梶ヶ谷プラザホテル

第2次合宿 平成22年9月 日（ ）～ 日（ ）

練習会場 代々木公園陸上競技場

宿泊施設 国立オリンピック青少年センター